

# 「DotCOE SafeWacth V3 分析データ抽出ツール」使用方法

## 1. 概要

本ツールは SafeWatchV3 で収集した情報から多く使われるデータ値を抽出し、CSV ファイルを作成します。CSV ファイルから不要なデータを探し、SafeWatchV3 除外フィルタとして設定して頂くことで、SafeWatchV3 で収集するログ発生量を効率良く抑えることができます。

## 2. 動作要件

本ツールを実行できる環境は、下記の通りです。

- ・ DotCOE のバージョンが V3.1 以降であること
- ・ SafeWatch V3 を利用中であること

## 3. 出力データ

本ツールで作成される CSV ファイルは以下の 7 種類があります。  
それぞれのフォルタ項目に対するデータ件数の多い順に作成されます。

| ログ種類   | フィルタ項目 | CSV ファイル名                     |
|--------|--------|-------------------------------|
| ファイル監視 | ディレクトリ | SWV3_yyyyymm_Fil_Dir.csv      |
|        | ファイル名  | SWV3_yyyyymm_Fil_Filename.csv |
|        | プロセス名  | SWV3_yyyyymm_Fil_Procname.csv |
| プロセス監視 | ディレクトリ | SWV3_yyyyymm_Pro_Dir.csv      |
|        | プロセス名  | SWV3_yyyyymm_Pro_Procname.csv |
| WEB 監視 | タイトル   | SWV3_yyyyymm_Web_Title.csv    |
|        | サイト    | SWV3_yyyyymm_Web_Site.csv     |

### 【CSV ファイル形式】

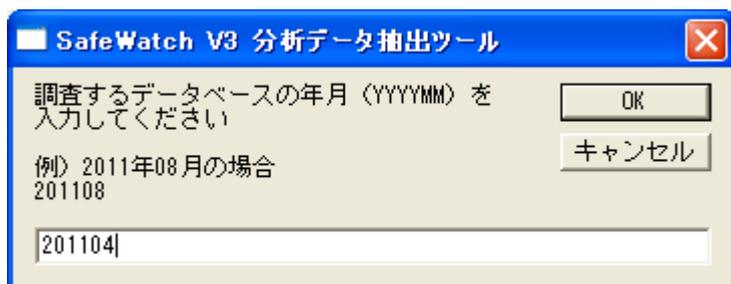
- 区切り文字 : カンマ
- 項目括り文字 : 無し
- 文字コード : SHIFT-JIS

## 4. 手順

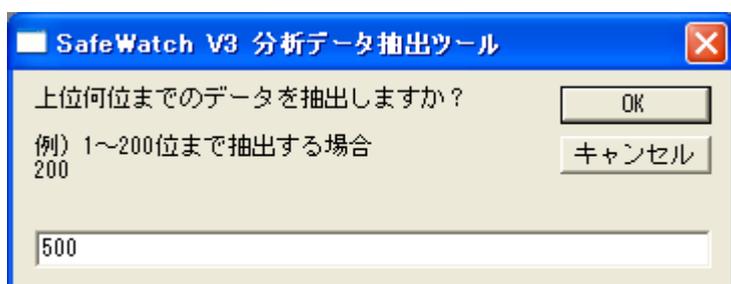
- ① DotCOE サーバに管理者権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- ② 本ツール「SWV3\_Filter.VBS」をローカルフォルダに保存し、実行します。

※ ツール実行時に、管理コンソールの SafeWatch ログビューアで検索を実行している場合、処理に時間がかかることがあります。

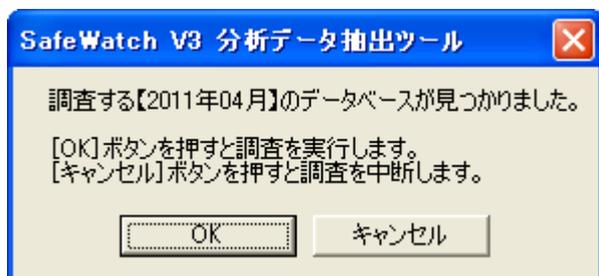
- ③ 調査を実施するデータの年月(西暦)を入力し、「OK」ボタンを押して下さい。  
「キャンセル」ボタンを押すとツールを中断します。



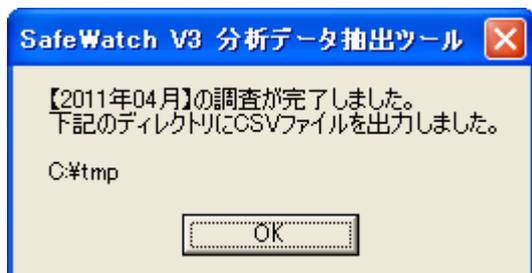
- ④ 利用頻度の高いデータを上位何位まで抽出するかを数字で入力し、「OK」ボタンを押して下さい。「キャンセル」ボタンを押すとツールを中断します。



- ⑤ 調査を実施する年月のデータが存在していれば、調査を実施します。  
「OK」ボタンを押して下さい。「キャンセル」ボタンを押すとツールを中断します。



- ⑥ 処理が終了すると、下記のメッセージが表示されます。  
データ量が多い場合、メッセージが表示されるまで時間が掛かることがあります。



- ⑦ 以上で終了です。